

顧客のニーズに敏感な製品造り、  
開発に励んでいきたい

夢

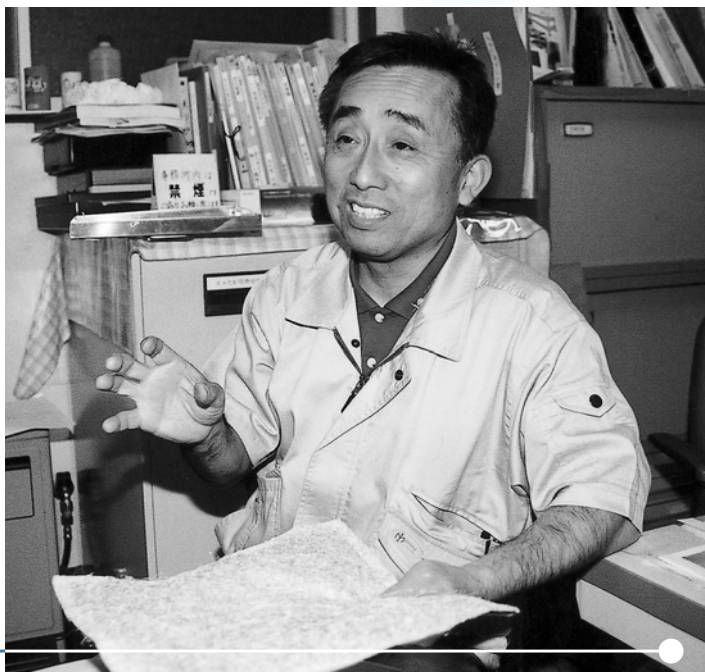
追

い

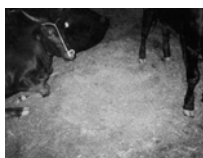
人

(株)大川鉄工

代表取締役社長 三砂誠一さん



●リサイクル



のこす(敷料)



→ バイオ技術発酵製品 →



堆肥化



→牛フン炭化堆肥(ペレット)

「(株)大川鉄工は、まさに『キラリと光る中小企業の一つ』といえるだろう。会社の特徴は、なんととっても技術開発、研究に非常に熱心なことだ。収益のかなりを研究開発費に投

入している。おそれなく、多くの人はすぐに昇開橋を思い浮かべるのではないだろうか。この昇開橋の保守管理、修理改善を行っている企業が、今月取り上げる(株)大川鉄工である。社長の三砂誠一さんにお話を伺った。これまで新聞社等の取材は受け入れておられなかったが、地元紙であり、また「夢追い人」をよく読んでおられることもあり、了解をいただいた。

皆さんは、大川の観光名所は何か、と尋ねられたら何処を連想するだろうか。おそろく、多くの人はすぐに昇開橋を思い浮かべるのではないだろうか。この昇開橋の保守管理、修理改善を行っている企業が、今月取り上げる(株)大川鉄工である。社長の三砂誠一さんにお話を伺った。これまで新聞社等の取材は受け入れておられなかったが、地元紙であり、また「夢追い人」をよく読んでおられることもあり、了解をいただいた。

新幹線の仮ドア



入している。社長の三砂さんは、とても勉強熱心な方である。「研究や研鑽をやめれば、我々みたいな中小企業は生き残れませんよ。」と微笑んで話される。県

今力を入れてしている研究開発の一つはなんだろうか。ナノテクノロジー素材の開発だそう。ナノテクといえば、近年脚光を浴びている。ナノとは、十億分の一の超ミクロの世界を指す言葉だ。詳しいことは企業秘密もあつて教えてもらえなかったが、どんな素材が出来上がるか楽しみだ。佐賀県のシンクロトロン光応用研究・新素材応用研究会に参加し、さらに研究を進めることになっている。

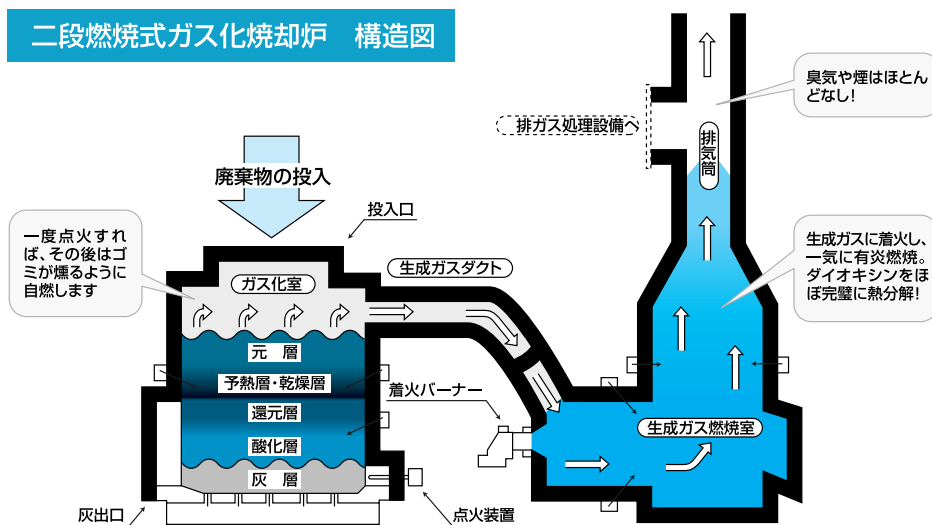
今力を入れてしている研究開発の一つはなんだろうか。ナノテクノロジー素材の開発だそう。ナノテクといえば、近年脚光を浴びている。ナノとは、十億分の一の超ミクロの世界を指す言葉だ。詳しいことは企業秘密もあつて教えてもらえなかったが、どんな素材が出来上がるか楽しみだ。佐賀県のシンクロトロン光応用研究・新素材応用研究会に参加し、さらに研究を進めることになっている。

## 二段燃焼式ガス化焼却炉



GGK-OTガス化炉

### 二段燃焼式ガス化焼却炉 構造図



## UV塗装システム

### 家具用表面材塗装乾燥システム



家具用表面材塗装乾燥システム

### ロボットによる塗装システム



ロボットによる塗装システム

家具用表面材塗装乾燥システム

の工業技術研究所での研究会やその他の勉強会には積極的に足を運ぶ。

最近開発した製品として、次世代焼却炉が挙げられる。二段焼却式ガス化焼却炉である。どんな点が優れているのだろうか。三砂さんはこう説明する。「まずダイオキシン類対策特別措置法の規準を余裕でクリアしています。投入後は自動制御で灰出しまで機械がやってくれます。しかも燃焼後の燃え殻は約2%しかありません。「まさに害なし、手間なし、燃え残しなしの素晴らしいものである。

でもそれだけではない。サーマルリサイクルテクノロジーと銘打たれた、技術が用いられている。どういうことだろうか。生成ガス・廃熱、スチームガスを有効利用できるのだ。「実際に大川のある企業では、表面材塗装乾燥システムに連動して、このシステムが使われています。環境に優いだけでなく、エネルギーやコストの面でロスのない、秀逸なシステムだ。

また、近年大川家具で注目を集めている、UV塗装家具。実はこのシステムの開発も大川鉄工である。今から十七年

ぐらい前にすでに開発していたという。そして「四、五年ぐらいつ注目を集めて」。大川鉄工が独自で開発したもの、共同開発に関わったものは多い。ロボットによる塗装システム、遠赤外線塗膜乾燥の技術、竹炭ボード、炭シート、バイオ技術による鋸屑の堆肥化、牛フン堆肥ペレット、ダイオキシン対応型小型焼却炉、アルフィルター等々である。こうした分野で特許をこれまで申請し、取得してきた経緯があるが、最近では顧客利益を最優先に考えて、あえて申請しない事も多いそうだ。なぜだろうか。三砂さんは「特許を取得する過程で、どうしても独自技術が流出してしまうことがありますが、申請しないことが、その設備、技術を使っていただけの企業の製品の独自性や差別化につながるならば、申請を控えます。UV塗装もその一つです」と語る。

夢を聞いてみた。「実のところ、量産体制を造ることにそれほど関心がありません。むしろ、顧客のニーズに敏感な製品作り、開発に励んでいきたいです。そういう意味で大川鉄工を一層个性的な企業にしていきたいですね。」

ぐらい前にすでに開発していたという。そして「四、五年ぐらいつ注目を集めて」。大川鉄工が独自で開発したもの、共同開発に関わったものは多い。ロボットによる塗装システム、遠赤外線塗膜乾燥の技術、竹炭ボード、炭シート、バイオ技術による鋸屑の堆肥化、牛フン堆肥ペレット、ダイオキシン対応型小型焼却炉、アルフィルター等々である。こうした分野で特許をこれまで申請し、取得してきた経緯があるが、最近では顧客利益を最優先に考えて、あえて申請しない事も多いそうだ。なぜだろうか。三砂さんは「特許を取得する過程で、どうしても独自技術が流出してしまうことがありますが、申請しないことが、その設備、技術を使っていただけの企業の製品の独自性や差別化につながるならば、申請を控えます。UV塗装もその一つです」と語る。

夢を聞いてみた。「実のところ、量産体制を造ることにそれほど関心がありません。むしろ、顧客のニーズに敏感な製品作り、開発に励んでいきたいです。そういう意味で大川鉄工を一層个性的な企業にしていきたいですね。」

ぐらい前にすでに開発していたという。そして「四、五年ぐらいつ注目を集めて」。大川鉄工が独自で開発したもの、共同開発に関わったものは多い。ロボットによる塗装システム、遠赤外線塗膜乾燥の技術、竹炭ボード、炭シート、バイオ技術による鋸屑の堆肥化、牛フン堆肥ペレット、ダイオキシン対応型小型焼却炉、アルフィルター等々である。こうした分野で特許をこれまで申請し、取得してきた経緯があるが、最近では顧客利益を最優先に考えて、あえて申請しない事も多いそうだ。なぜだろうか。三砂さんは「特許を取得する過程で、どうしても独自技術が流出してしまうことがありますが、申請しないことが、その設備、技術を使っていただけの企業の製品の独自性や差別化につながるならば、申請を控えます。UV塗装もその一つです」と語る。

夢を聞いてみた。「実のところ、量産体制を造ることにそれほど関心がありません。むしろ、顧客のニーズに敏感な製品作り、開発に励んでいきたいです。そういう意味で大川鉄工を一層个性的な企業にしていきたいですね。」

ぐらい前にすでに開発していたという。そして「四、五年ぐらいつ注目を集めて」。大川鉄工が独自で開発したもの、共同開発に関わったものは多い。ロボットによる塗装システム、遠赤外線塗膜乾燥の技術、竹炭ボード、炭シート、バイオ技術による鋸屑の堆肥化、牛フン堆肥ペレット、ダイオキシン対応型小型焼却炉、アルフィルター等々である。こうした分野で特許をこれまで申請し、取得してきた経緯があるが、最近では顧客利益を最優先に考えて、あえて申請しない事も多いそうだ。なぜだろうか。三砂さんは「特許を取得する過程で、どうしても独自技術が流出してしまうことがありますが、申請しないことが、その設備、技術を使っていただけの企業の製品の独自性や差別化につながるならば、申請を控えます。UV塗装もその一つです」と語る。

夢を聞いてみた。「実のところ、量産体制を造ることにそれほど関心がありません。むしろ、顧客のニーズに敏感な製品作り、開発に励んでいきたいです。そういう意味で大川鉄工を一層个性的な企業にしていきたいですね。」